

科目名	文章表現（論述表現）					単位	2.0
担当教員	中條 敦仁						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	1	授業番号	2310

●授業のテーマ

相手を説得する文章を書くためには何が必要か

●到達目標

1. 「表現する」とはということかを考えることができる。
2. 「書く」ために必要な最低限の能力を身につけることができる。
3. 論文執筆の手順を知り、それに則り論文を書くことができる。
4. いくつかの文章構成形態を知り、その中のひとつを運用できる。

●学習内容(授業概要)

表現力は社会人として活躍するための必須の能力である。大学あるいは、社会生活では、自分の書いた書類や文章、面接での発言内容、態度など、「自分のおこなった表現」に対して評価される場面が圧倒的に多くなる。あなたは表現することに興味・関心を持っているだろうか。この機会に、「表現すること」に興味を持ち、自分の「表現」を見つめ直し、不足している部分を補い、相手に理解されるための表現や文章構成を考えてみよう。

●学習内容(授業計画)

1. 書くために必要なこと①
2. 書くために必要なこと②
3. 表現力を磨こう～短文作りのすすめ～
4. 140文字の短文作り①～準備～
5. 140文字の短文作り②～投稿～
6. 140文字の短文作り③～評価・返信～
7. テーマに合わせた短文を作ろう①
8. テーマに合わせた短文を作ろう②
9. メモ書きアウトライン
10. 最終アウトライン
11. アウトラインを踏まえた文章作成
12. 推敲
13. 清書
14. 批評
15. これから論述をしていくために～まとめ～

●準備学習・事後学習の内容

準備学習：①配布プリントを読む

②小テスト対策をする。

事後学習：①次時までの課題がある場合はする。

②今後活用できるように講義内容をまとめていく。

●成績評価方法・基準

小テスト(国語力確認の観点)=30%、講義内課題(文章表現基礎力確認の観点)=30点%、最終課題(講義内容理解の観点)=40点%をもって評価する。

●テキスト(必携)

必要に応じて資料配布をおこなう。

●参考文献/その他

講義中に紹介する。

●履修上の注意

文章をよりよく書くために、講義内容は継続的・積み上げ的なプログラムを立てた。よって、全講義出席し、積極的に課題に取り組み、文章表現力を高めてほしい。